印　西　市

議会だより

第178号
平成28年（2016年）11月
発　行　千葉県印西市議会
編　集　議会だより編集委員会
〒270-1396
千葉県印西市大森2364-2
TEL 0476-42-5111(代)
FAX 0476-42-5299
メールアドレス
gikai@city.inzai.lg.jp

「渾身の力」（28年9月/木刈中学校体育祭にて）議会だより編集委員会

平成28年 第3回 定例会

会期8月31日～9月29日

平成27年度決算を徹底チェック
市のお金は適正・効率的に使われたか

第3回定例会は会期30日間で開かれました。
今定例会では条例の一部改正が4件、平成28年度補正予算が4件、その他2件の計10議案のほか、平成27年度決算の認定が6件、報告4件、諮問2件、同意3件、陳情1件、発議案1件が提出され、それぞれ慎重な審議が行われました。
なお、議案等の議決結果については、9ページに掲載しています。

決算審査特別委員会を設置

「平成27年度印西市各会計歳入歳出決算」、「平成27年度印西市水道事業会計決算」を審査するため決算審査特別委員会を設置しました。選出した委員は次のとおりです。

委員長	増田　葉子
副委員長	伊藤　真一
委員	稲葉　健
〃	小川　利彦
〃	浅沼美弥子
〃	近藤　瑞枝
〃	松尾　榮子
〃	軍司　俊紀

審査結果

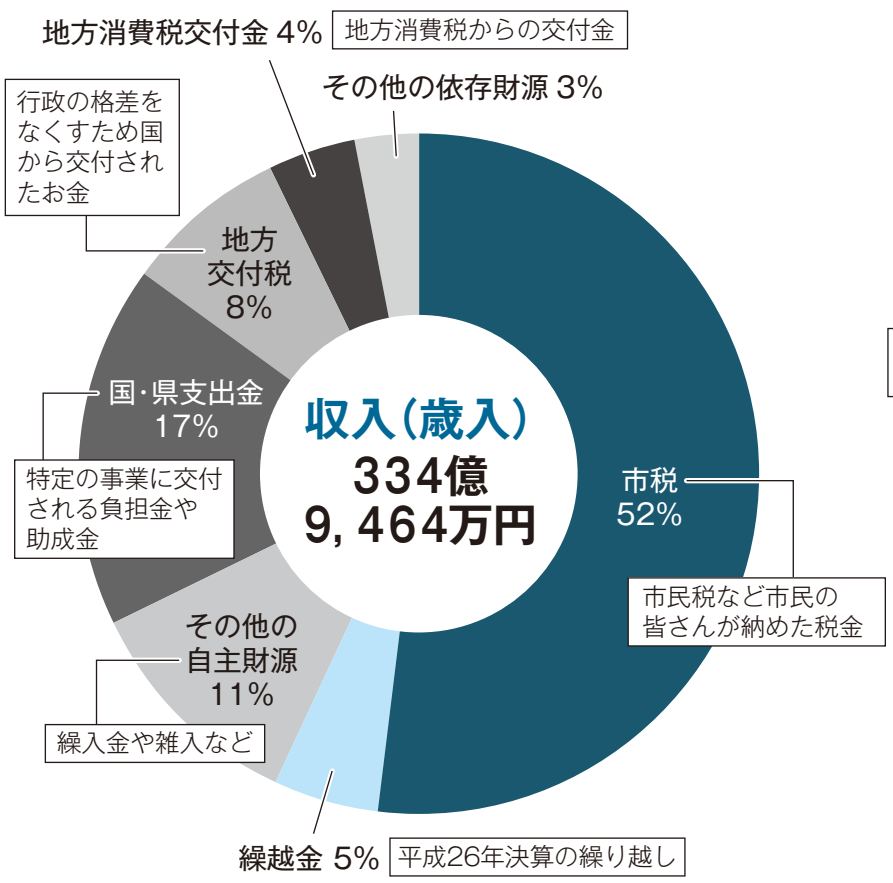
◆平成27年度印西市一般会計歳入歳出決算〈不認定〉
◆平成27年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算〈認定〉
◆平成27年度印西市下水道事業特別会計歳入歳出決算〈認定〉
◆平成27年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算〈認定〉
◆平成27年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算〈認定〉
◆平成27年度印西市水道事業会計決算〈認定〉

目　次

P2 平成27年度歳入歳出決算
P3～7 議員17人が登壇
一般質問
（代表質問7人、個人質問10人）
P5 議会改革推進特別委員会報告
P8 常任委員会の審査結果
P9 議案と審議結果一覧
発議案
陳情
P10 北総地区市議会正副議長会議員研修会
市民の声
議会だより視察報告
編集後記

平成27年度一般会計歳入歳出決算は不認定

決算の内訳



決算審査特別委員会で不認定となった印西市一般会計歳入歳出決算は、9月29日の本会議でも不認定となりましたが、同案件に対する討論がありましたので、その一部をここに要約して掲載します。

賛成討論（認定すべき）

◎高齢化の進展や子ども達に対する福祉ニーズの増に対応した主要事業を確実に実行し、また学校や道路などの公共施設の維持管理や改修事業も確実に実行されている。継続している社会資本整備総合交付金事業などの普通建設事業もしっかりと進展させている。このようにまちづくりのための予算を確実に進行させる中で、臨時財政対策債の起債を取りやめ、財政調整基金に9億円を積み立てるなど、将来に向けての財政の健全性を向上させている。

◎平成27年4月11日発行の広報いんざい特別号については市長が責任を負うべきものと考えるが、予算執行に当たっては職員が当初予算と比較して逸脱したことを行ったわけではない。厳しい財政運営の中、職員の努力によって健全な財政運営が行われたと考える。職員の努力を評価する。市長は今回の決算審査の反対討論の内容も鑑みながら、2期目の市政運営に向かっていただきたい。

反対討論（不認定にすべき）

◎鹿黒地区に建設中の新給食センター建築工事、小林駅南口自由通路、小学校の空調設備設置工事、道路の新設改良工事そして子ども医療費の助成など評価すべき点は多々あった。しかし、企業誘致推進事業として2億3480万円が使われた。企業誘致のために奨励金の額を競うことは時代遅れとなっている。外から企業を誘致するという発想を切り替え、地域にある企業や人材資源を生かした産業政策に切り替えることも必要だ。決算審査の結果が次年度の予算に反映するよう審査した。二期目の当選を果たした市長は、一期目の自身の行動を反省し、二期目こそ自身の公約を果たすよう求める。

◎市長が平成27年4月11日に発行した広報いんざい特別号は、同年4月1日に公布された印西市広報広聴規則第9条に規定された掲載不適事項に該当すると考える。具体的な条文は、同条（2）主とする内容が営利活動（広報紙に限る。）、宗教的活動、政治的活動又は個人宣伝を目的とするもの、同条（4）市の行政運営の実態に反し、誤解を与えると判断されるものとなる。

会計名（単位:円）	一般会計	特別会計				水道事業会計					
		国民健康保険	下水道事業	介護保険	後期高齢者医療						
歳　入	334億9,464万	94億8,030万	19億7,627万	43億4,295万	5億8,638万	収益的収支	歳　入	7億782万7,668円	資本的収支	歳　入	5,135万7,520円
歳　出	311億1,933万	94億4,941万	18億2,836万	42億3,285万	5億7,520万		歳　出	6億5,902万292円		歳　出	1億623万3,468円
差引額	23億7,531万	3,089万	1億4,791万	1億1,010万	1,118万		差引額	4,880万7,376円		差引額	△5,487万5,948円

平成27年度一般会計の主な事業

◎学校給食センター整備事業
7億864万円

◎歴史資料展示施設改修工事
1億9345万円

◎子ども医療費助成事業
4億241万円

一般質問

《一般質問とは》
議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

平成28年第３回定例会では９月12日から３日間、17人の議員による会派代表質問及び個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。
この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

代表質問

超高齢化社会をみすえて 公約の実現を

「創進」増田 葉子 議員

質問１　「いんざい健康ちょきん運動」は、担当職員の頑張りもあり一年で15箇所増えた。拡大を支援するとの公約だが、具体的な施策は。

市長　インストラクターを５人養成し住民の体操指導にあたってもらう。

再質問　「ちょきん運動」のルーツ、高知市の「いきいき百歳体操」は、保健センターのマンパワーで一年に52箇所増やしたという。市民インストラクターも必要だが、地域の健康づくり運動と位置づけて、保健部門と福祉部門の組織的連携が必要だ。もっと組織に目配りしてはどうか。

答弁　まずは全職員への事業周知が必要。職員向けセミナーを考えている。

質問２　地場産業の振興のための具体的施策は。

市長　中小企業向けの資金融資制度など商工会活動の支援、市内中小企業へ利子補給などの経済的支援を拡大したい。

再質問　人口減少は地場産業にとって死活問題だ。産業振興の立場から人口問題に取り組むべきだ。千葉ニュータウン中央のイオンモールにある観光情報館を、定住人口を増やす視点で展開できないか。空き家情報や子育て支援情報をおく、新規就農者の募集をする等、アイディアしだいでいくらでも展開できるのでは。

環境経済部長　貴重なご意見として参考にしたい。

質問３　現在、情報化計画の見直しが進められている。新しい情報化技術に対応し、利便性を向上させるという方向性だけでなく、市民の不便を情報化によって解決するという方向性に転換できないか。

市長　各種保険や福祉関係の手続きは、出張所で取り扱いできないものがある。

再質問　日本語を話せない人や手話で会話したい人が窓口に来たらどう対応しているか。

市民部長　昨今ではテレビ電話を使った自動翻訳サービスもあり、技術の動向に注視している。

再質問　テレビ電話を使えば、面談を要する申請も受け付けられるし、手話通訳者につなげば込み入った相談にも対応できる。テレビ電話の活用を情報化計画に盛り込めるか。

答弁　計画に盛り込むよう進言したい。

代表質問

学校適正配置・運賃バランスある施策展開を

「ひざし」松尾 榮子 議員

質問１　学校適正配置について、基本方針の策定状況は。

教育長　学校適正配置審議会からの答申をふまえ素案を作成し、現在、市民意見公募を実施している。今後は意見を参考に、教育委員会会議を経て本年10月確定予定である。

再質問　緊急対応を要する小規模校、大規模校についての取り組み状況は。

答弁　永治小学校については本年３月から保護者や地域への説明会、意見交換会を開催し、平成29年度からの木刈小学校との統合に向けた調整を進めている。小倉台小学校については学校敷地内での増築や通学区域制度の弾力的運用について、７月保護者説明会で説明したところである。

質問２　「北総線の利便性向上」を掲げられているが、市民目線で最も必要な施策は何と考えるか。

市長　北総線の運賃値下げは市民の切実な願い。県や沿線自治体と連携し鉄道事業者とも協議しながら、北総線利用者の増加を図ることで運賃値下げに結び付けていきたい。

再質問　自営業者や主婦、定年退職者等の一般市民は日々の暮らしの中で北総線運賃の影響を直接受け、次こそ普通運賃値下げをと長い間我慢してきた。これは県や沿線市が一つにならなければ決してできないこと。市長の考えは。

答弁　現在、県、沿線自治体及び鉄道事業者等が連携し、沿線地域の活性化に取り組んでいるところである。

質問３　市長の選挙公約について。

「４年間、市民から話を伺うなどして特に必要と判断し公約とした」と述べておられる10の公約中、市が急成長するこれまでの30年間、苦労をしながら働き、税金を納め、今60代、70代になった市民のための施策は「健康ちょきん運動」ただ一つである。市の発展に貢献してきた市民の方々がこれから不安な老後を迎えるという時に、この公約は余りにもバランスが悪いのでは。市政の推進にあたっては広く各界各層の目線から必要な施策に取り組んでいただきたい。どう考えるか。

市長　「高齢者福祉施策については「第６期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき事業を進めている。

◆その他の質問
○千葉ニュータウン関連課題
○北千葉道路について
○商工業・農業の振興・発展
○学校環境・子育て支援

代表質問

市立幼稚園のあり方検討し 幼児教育の充実を

「公明党」浅沼 美弥子 議員

質問１　市立幼稚園の役割について伺う。

教育長　幼稚園教育要領に基づく標準的な教育を提供するとともに、特別に支援を必要とする子どもたちを可能な限り受け入れ運営している。

再質問　特別に支援が必要な子どもの受け入れ状況は。

教育部長　３歳児18名、４歳児11名、５歳児24名。計53名。

再質問　そのための人員配置の現状はどうか。

答弁　各園の状況に応じ非常勤職員を20名任用している。

再質問　53名に対し20名、特に３歳児18名に対し６名では大変な状況ではないか。保護者からの訴えもある。今後の傾向についてはどうか。

答弁　特別支援のニーズは多様化し発達に課題がある、あるいはその疑いがある子は増加傾向にあると捉えている。

質問２　市立幼稚園の現状と課題について伺う。

教育長　市立幼稚園３園は、三歳児教育、スクールバス、給食の有無において違いがある。今後サービスの平準化を図っていく必要がある。

再質問　今後の進め方は。

教育部長　給食については、平成29年度より瀬戸幼稚園も業務委託方式による給食に切り替える。平成31年度を目途に保育料見直しを検討。子ども子育て会議で検討する。

再質問　三歳児教育の意義は。

答弁　社会性の基礎を培う上で重要であると考えている。

質問３　市立幼稚園のあり方基本方針を伺う。

教育長　子ども子育て支援法の改正を受けて保育料の見直し等と合わせて検討を進めている。

再質問　適正規模について。

教育部長　現在は１学級35人以下を基準としている。文部科学省が定めた教員の配置基準として、３歳児20人、４・５歳児30人を現行水準ベースとしていることから、１学級の人数を変えていく必要があると考えている。

◆その他の質問
○新公会計制度の進捗状況と今後の活用について

代表質問

住みよいまちを実感したい 大森の環境整備を

「日本共産党」山田 喜代子 議員

質問1　大森地域からの陳情（道路側溝の整備・上下水道の整備）について

議会運営委員会では文書配布と決定、委員会での審査はしないということになった。市民の要望である事から質問とする。現地を視察すると、陳情文にある様に、道路側溝の破損があり、大半の場所で道の勾配がとれておらず汚泥が溜まり異臭が漂っている。逆勾配やゼロ勾配の場所はボウフラの発生もあるとの事だ。幼い子ども達も安心して遊べない環境だ。「印西市排水溝清掃補助金交付要綱」の趣旨は第1条　生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る為…とある。この趣旨どおりに図って頂きたい。そこで提案するがどうか。

①市の責任で側溝清掃をする。

②ふたの無い場所は、グレーチング等でふたをする。

③排水量にあわせた側溝とする。

④逆勾配を無くすため全面的に整備する。

市長　本年度も現地確認の上、特に汚泥の溜まっている箇所の側溝清掃をする予定だ。町内会が困っていることは知っている。対応を考えていく。下水道整備については、相談があったので、町内会に説明し検討する。

質問2　就学援助費の活用について

支給項目に、全学年対象に学用品、通学用品費として年額、小学生に2万4７0円、中学生に2万3５５0円支給される。いずれも購入後、領収書等学校へ提出した後の支給だ。そもそも支給の対象は経済的理由により生活が困窮している世帯だ。購入後支給ではなく事前に支給することは出来ないか。県内では3月時点で支給している自治体は市川市、銚子市、長生村など6自治体あり、実施を検討するとしているのは20自治体ある。

教育部長　事前支払いについては検討する。

再質問　全国一律の金額も実態と差がある。実際にかかる費用を調査すべきと考えるがどうか。

答弁　実際にかかる費用については調査する。

◆その他の質問

○高運賃の北総線昼間割引回数乗車券の時間延長を

○農業の振興　地産地消拡大

○消費生活相談センターの相談員の資質向上と交付金の活用

○船穂郵便局の再開を

○ふれあい文化館の暑さ対策

○竜ケ崎線大型車の安全対策

代表質問

オリンピック出場選手の支援の充実を

「響（ひびき）」金丸 和史 議員

質問1　オリンピックの支援は交際費での支出ではなく、当初予算で計上してはどうか。

総務部長　誘致推進本部会議で検討していきたい。

再質問　スポーツクライミング競技が追加種目とされたが、印西市として何らかの形で連携できないか。

答弁　競技団体と情報交換し、検討したい。

再質問　印西中学校での「澤野大地」応援会は、パブリツクビューイング（ＰＶ）として、体育館又は文化ホールで行うべきだったと考えるがどうか。

教育部長　澤野選手が棒高跳競技を始めるきっかけとなった印西中学校で、決勝のみＰＶを行ったが、ＰＶの在り方について他自治体を参考にし、今後は計画的に準備をしたい。

質問2　印旛中央地区についての現状はどうか。

都市建設部長　6月に地権者との情報共有と情報交換を行えるよう「印旛中央地区連絡会」を発足させた。

再質問　印旛中央地区を今後開発する場合の問題点は何か。

答弁　事業の採算性が課題となってくる。

再質問　昨年行った地権者への意向調査はどうだったか。

答弁　「市街化区域のままでよい」という意見が約4割、「市街化調整区域に戻すべき」という意見が約3割という結果であった。

質問3　入札の設計の際、市内部のチェック態勢を確立すべきと考えるがどうか。

総務部長　事業担当課内で設計担当者と別な職員が確認を行っている。

再質問　次善策として「対応マニュアル」を策定しては。

答弁　策定に向けて、検討していきたい。

再質問　地元事業者の育成のためにも県基準に入札方法を合わせた方が良いのでは。

答弁　県に全て合わせることは難しいと考えている。

◆その他の質問

○「スポーツ振興課」を市長部局に。

○木刈中学校の生徒数増への対応は。

代表質問

定住を促進するための課題と施策について

「北総志政会」藤代 武雄 議員

質問1　何年から市の人口が減少し、高齢化はどのように進行していくのか。

企画財政部長　平成37年から市の人口が減少していくものと推計しており、高齢化率については、一貫して増加し、平成32年の時点で約24％の見込みである。

再質問　定住人口をどのように増やすか、市の施策について伺う。

答弁　定住人口の増加を図るには、総合的にバランスのとれたまちづくりが重要である。施策として、安定した雇用を創出するための企業誘致の推進。新しい人の流れをつくるため、市のイメージや知名度アップを図れるよう、積極的な情報発信。安心して子育てできるよう、待機児童の解決とともに、妊娠から育児まで、切れ目のない各種サービスの充実を図る。高齢化率の上昇による医療介護の問題には、住み慣れた地域で、元気に住み続けられるよう、健康寿命の延伸などに取り組んでいきたいと考えている。

質問2　高齢者向け施設数と定員数について伺う。

市長　市内立地の施設は、14施設が設置運営されており、定員数は、計８１３名である。

再質問　介護報酬の自治体意見の聴取等の対応について伺う。

健康福祉部長　平成30年度からの第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定に向け、対応したいと考えている。

質問3　民間保育園との連携支援をどう進めていくのか。

健康福祉部長　保育行政の運営は、民間保育園の協力がなくては成り立たない中で、補助制度の拡充を含め、意見交換をしつつ、支援策について検討を進めていく。

再質問　保育士の給与改善を含めた助成も、検討の中に入っていると理解してよいのか。

答弁　保育士の給与改善を含め、調整をとりながら、支援策について検討を進めていく。

◆その他の質問

○発達障害について

○特定健診について

○地域間格差について

会議録がインターネットで閲覧できます。

ホームページアドレス　http://www.kaigiroku.net/kensaku/inzai/inzai.html

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約してあります。会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。なお、会議録は次の場所で閲覧できます。

第３回定例会の会議録は、12月上旬頃閲覧開始予定です。

◇議会事務局（市役所５階）　◇行政情報コーナー（市役所１階）

◇支所（印旛・本埜）　◇市内図書館6館（大森、小林、小倉台、そうふけ、印旛、本埜）

代表質問

小規模校6校、大規模校3校の今後は

「新政」板橋 睦 議員

質問　**学校の適正化について**

（1）印西市学校適正規模・適正配置基本方針を伺う。

教育長　昨年4月に学校適正配置審議会を設置し、小学校及び中学校の適正配置について諮問した。

教育委員会では、本年3月に審議会から受けた答申を踏まえ、このたび、印西市学校適正規模・適正配置基本方針（素案）を作成した。

現在、本素案の市民意見公募を実施しているが、終了後は、いただいた意見を参考に基本方針（案）を策定し、本年10月に確定する予定だ。

再質問　**永治小学校については、既に保護者や地域住民への説明会等を開催し、平成29年度からの木刈小学校との統合に向けた調整を進めているとのことだが、統合に向けた子どもたちへの配慮はどのようなことを考えているのか。**

教育部長　子どもたちが新しい学校生活を円滑に迎えられるよう、教職員の配置、事前に学校間の交流活動等を計画的に行うなど対応を講じる。

統合後は子どもたちの変化を早期に発見し、迅速な対応を図るため、学校生活や授業友人関係に関するアンケート調査の実施を考えている。

再質問　**永治小学校の統合後の通学への配慮は。**

答弁　新たな学校区の安全マップを作成し、子どもたちへの安全教育や登下校時の安全指導を徹底するとともに通学路の危険箇所の把握に努め、安全対策を警察署や関係機関に要望する。

遠距離通学の負担軽減と通学時の安全性を確保するため、スクールバスを運行し、登下校時の送迎を考えている。

再質問　**永治小学校の統合に際し、中学校は木刈中学校が指定校となるが、木刈中学校への通学対策は。**

答弁　通学路の安全対策と自転車通学の安全教育や安全指導を行う。

◆その他の質問

- **市長の選挙公約**
- **参議院議員・市長選挙**
- **スポーツ振興**
- **木下駅圏の活性化**

個人質問

土地改良区への補助の拡充が農業に必要だ

伊藤 真一 議員

質問1　**小規模土地改良事業において、毎年、設備の老朽化による不具合が発生している状況であり、現状の補助金2分の1（個人の場合70万円を限度）より補助金の交付額を引き上げるべきではないか。**

環境経済部長　補助率については、「印西市における補助金のあり方」の指針において2分の1以内になっていることから、今後もその指針に沿って進めていく。また、限度額については今後、事業費の拡充を図っていくので、併せて検討していく。

質問2　**「土地改良施設維持管理適正事業補助金」について、現状は、国30％、県30％、土地改良区40％であるが、国と県へ負担割合を増やす要求をする考えはないのか。**

環境経済部長　国の補助事業に係わる実施要綱に基づき、千葉県土地改良事業団体連合会が事業を取りまとめているので、会議等の機会に負担割合を増やす要求を伝える。

◆その他の質問

- **「国民健康保険税」の賦課金について。**
- **踏切を渡る道の改善について。**
- **生活道路の拡幅について。**

個人質問

地域が元気になるイベント・祭りの支援策は

櫻井 正夫 議員

質問1　**市民祭りを今後続ける予定はあるのか伺う。**

企画財政部長　市制施行20周年記念事業の市民公募特別事業で今年度のみ。次年度以降の継続予定はない。

質問2　**川の停車場で実施している軽トラ市の宣伝と仲間作りの支援について伺う。**

環境経済部長　産直軽トラ市&フリーマーケットについては、市ホームページ上で開催を周知している。また、市内外で開催するイベントにおいても、パンフレットを配布し広報に努めている。昨年六月には、NHK千葉放送局のFMラジオ番組「ひるどき情報ちば」で生放送によるPRを行っている。ハード面においても、河川占用区域を広げる手続きを行い、駐車台数の増加やコスモスの花壇作成などを行えるように支援した。今後も、主催者であるNPO法人印西市観光協会と連携し、同イベントの支援を行っていく。

質問3　**印旛、本埜地区で開催されている夏祭り、秋祭りの支援について伺う。**

市民部長　「印西市コミュニティ助成事業補助金」を活用してもらうことが可能と考える。活動に必要な設備等の整備に要する経費を補助するもので、祭りの備品等も補助対象となっている。

◆その他の質問

- **有害鳥獣駆除について**
- **高齢者クラブへの補助金**

議会改革推進特別委員会活動報告

議会改革推進特別委員会では平成27年４月から検討すべきテーマを設け検討を行っている。平成28年第３回定例会までの検討結果又は検討状況については、次の表のとおりである。
なお、今期の当特別委員会で検討すべきテーマとした項目は、「議会基本条例」制定の検討を残すだけである。

検討すべきテーマ	検討結果又は検討状況
① 研修の強化・提案能力の向上	「提案能力向上」というテーマで議員勉強会を実施予定。
② 委員長報酬の見直し	検討の結果現状維持とする。
③ 政務活動費マニュアルの見直し	領収書保管期間等政務活動費マニュアルを改訂した。
④ 議会ＩＴ化	平成28年４月19日に流山市へ視察を実施した。なお、タブレット導入は今回見送ることとしたが、今後、継続して検討いくこととした。 委員会中継は平成29年度からの実施に向け調整を行っている。
⑤ ペーパーレス化・議事録等部数の検討	全ての資料をペーパーレス化することは、現在のところ法規上も含めて、無理であると判断した。 議事録の作成は費用的には部数の影響は少ないため、個々の議員への配布を希望者のみとした。
⑥ 事務局体制の強化(情報管理・法務担当の配置等)	議長を通じて、職員配置の検討を依頼した。
⑦ 委員会室の改修･委員会傍聴	委員会中継は実施に向け調整を行う事になった。
⑧ 政務活動費・費用弁償	条例の改廃を伴うため、個々の議員が判断することとした。
⑨ 議会図書室の充実	どのような資料を置くべきか会派で検討することとした。
⑩ 議長・副議長の立候補制	「申し合わせ事項」とすることとした。
⑪「議会基本条例」制定の検討	平成29年６月定例会まで現在検討中。 今後、先進の他議会を視察した後、結論を出す予定である。

個人質問

北総線の利便性向上と消防団支援を問う

橋本 和治 議員

質問1　市長は選挙公約で北総線の利便性向上を掲げたが、その内容は不十分だ。アクセス特急については、朝夕の増便のみならず、日中の増便も要求する考えはないか。

市長　北総鉄道側とよく話し合いたい。

再質問　夕方以降の都営地下鉄浅草線下りからのアクセス特急の直通運転を要求する考えはないか。

答弁　良く調査して北総鉄道側に申し入れしたい。

再質問　夕方以降の都営線下りとアクセス特急の直通運転が無理なら、午後8時以降にしか運行されていない印旛日本医大駅行き特急電車を、もっと早い時間から増発するよう要求する考えはないか。

答弁　利用者の立場に立って、会社側に要望したい。

再質問　市内にある北総線3駅の安全性向上のため、ホームドアの設置を要求する考えはないか。

答弁　よく研究したい。

質問2　北総線通学定期割引率50％は可能か。

市長　非常に難しいと思うが、是非とも研究したい。

質問3　消防団支援のため、ふれあいバスに、消防団加入をPRするラッピングをする考えはないか。

総務部長　佐賀市で、市営バスにラッピングをしているが、本市では当面、マグネットシートなどで対応したい。

個人質問

地域包括ケアシステムの構築は進んでいるか

軍司 俊紀 議員

質問1　市民への制度周知は充分か。

健康福祉部長　地域の方々の理解や協力が欠かせないので、より一層機会を設けていく。

再質問　広報等による周知は行なわないのか。

答弁　今後は、広報への掲載や窓口でのちらし配置など、市民への有効な周知方法の検討をしていきたい。

再質問　市民対象の講演会を開催してはどうか。

答弁　印西市が向かう超高齢社会は、市民に理解いただくことは重要だと認識している。講演会は、今年度の開催に向け調整しているところだ。

質問2　「在宅医療・介護連携の推進」は計画通り、進んでいるのか。

健康福祉部長　医療・社会資源把握事業として、医療機関や居宅支援事業所一覧、相談窓口を掲載した文書を作成し、高齢者福祉課や地域包括支援センターの窓口で配布をし、市民への周知に努めている。

再質問　医療・介護連携の検討委員会設置の進捗状況はどうなっているのか。

答弁　今年度、在宅医療を推進するため、検討委員会を設置する予定で、印旛市郡医師会印西地区常会及び印旛郡市歯科医師会印西地区の例会で協力いただけるよう、説明を行った。

◆その他の質問

○市長公約と今後の市政運営について（待機児童の解消、北総鉄道の利便性向上と運賃問題、駅前センタービルの活用について）

○放射能・放射線対応（甲状腺検査について）

○牧の原地区の将来（交通安全対策、防犯カメラの設置、災害弱者の対応について）

個人質問

職員の笑顔は市民の笑顔をつくる

酢﨑 義行 議員

質問1　組織と不祥事の関連についての見解を伺う。

市長　不祥事の原因の一端は、組織にもあるものと認識している。不祥事を未然に防止するには、組織としてリスク管理を行っていくことが重要である。

再質問　組織編成の際、念頭に置くものとして「働くものが働き甲斐を持てる組織環境」も重要ではないか。

総務部長　組織編成において、「市民サービスの向上」を念頭に置き、効率的・効果的な行政運営を行うこととしているが、「働くものが働き甲斐を持てる組織環境」が重要であると認識している。

再質問　それには、どのような要件が必要と考えているか。

答弁　職員が自律的に行動する必要があること。次に、貢献意欲だが、働きぶりを認められ、仕事そのものに喜びを感じ、責任を持たされ、達成感や自己成長を実感するなどの満足感、モチベーションを高める必要があること。次に、コミュニケーションは、組織が機能するための血液潤滑油のような存在であり、仕事の円滑化、組織強化に必要であること。

再質問　注意不足や確認不足を無くすため、また業務を円滑に遂行するための相談役として、権限も責任もない形で補助者をつけたらどうか。

答弁　対応策については、再任用職員や他機関からの人材活用など、情報収集し、調査・研究したい。

◆その他の質問

○小学校でのプログラミング教育について

個人質問

シティセールスの推進 小学校の英語教科化は

岩崎 成子 議員

質問1　市の認知度・イメージ向上策については、実施計画で検討中とのことだが想定される取り組みについて伺う。

企画財政部長　印西市の魅力情報発信力の強化に関する事業として、ソーシャルネットワークサービスによる情報発信等を想定している。

質問2　小学校英語教科化への取り組みの現況は。

教育長　本年度、市内4校を研究指定し、学級担任を中心とした外国語活動指導案の作成と授業実践ならびに日本人の英語コーディネーターを指定校に派遣し、授業評価規準や指導案の作成について指導助言を行っている。また、教育センターでは、小学校教員対象の夏季研修会を実施し、指導力の向上に向け教員のスキルアップを図っている。

再質問　今後の進め方について伺う。

答弁　指定校の授業実践をまとめ、研修会等で他校に広げられるよう教員の指導力の向上を図っていきたいと考えている。あわせて、ALTのほか日本人のコーディネーター等の活用を含め、英語教科化に取り組んでいきたいと考えている。

◆その他の質問

○国際化の推進について

○ファミリーサポートセンター事業について

○特別支援教育について

○中学生の海外派遣

「i 広報紙」が「マチイロ」にリニューアル！

※「ｉ広報紙」が９月中旬から「マチイロ」にサービス名を変更し、アプリがリニューアルしました。
すでにご利用のみなさんは、アップデートでアプリが入れ替わります。

QRコードからもダウンロードできます。

■始めるのは簡単です

App Store・Google Playから「マチイロ」を検索しダウンロード。

お住まいの地域のほか、簡単な設定をします。

広報紙が画面のトップに表示されます。最新の広報紙も配信されます。

■こんな使い方もできます

1 かんたん　ホーム画面からタッチ一つで最新号が見られます。

2 スクラップ　気になる記事は画像で保存。そのままSNSでシェアもできます。

3 プッシュ通知　発行日にはスマートフォンなどに通知が届きます。

スマートフォンなどで使えるアプリ「マチイロ」で議会だよりと広報いんざいをいつでも、どこでも読むことができます。

※このアプリケーションは㈱ホープが作成したものです。広告が掲載されますが、印西市とは関係ありません。

マチイロの利用やシステムの質問は㈱ホープ（☎092-716-1404）。

個人質問

多様な制度を導入し安心安全なまちに

海老原 作一 議員

質問1　生活道路における狭あい道路の現状認識を問う。

都市建設部長　緊急車両が通行できない狭あい道路があり、安心安全の観点から拡幅整備の必要性は十分認識している。

再質問　先進市における狭あい道路拡幅整備事業は。

答弁　幅員4ｍ未満の道路において、一定の条件のもと、後退道路用地寄付のための測量分筆を市が行う、補助金を交付するなど、あるいは、無償借地するなど、住民と協力し、狭あい道路の拡幅整備を促進する制度等を整えている。

再質問　建築行為等を行う場合の事前協議の導入は。

答弁　先進市の狭あい道路対策を調査検証し、事前協議制を含め、当市にあった手法を模索する必要がある。

再質問　模索した結果を踏まえどうするのか。

答弁　調査研究の成果がまとまり次第、庁内手続きを経て、狭あい道路の解消策を導き出せるよう努めていく。

質問2　民生委員一人当たりの担当高齢者数は。

市長　平成28年3月末現在、市全体の高齢化率は20・6％で、昨年度実施した独居・高齢者世帯調査では、民生委員一人当たりの担当高齢者数は平均で79人、最多の方で193人を担当している。

再質問　民生委員協力員制度の導入について伺う。

答弁　民生委員の負担軽減を図る手段として、活動の補佐・協力をすると共に、新たな地域福祉の担い手の掘り起こしにつながると認識しており、民生委員の活動しやすい環境を整備することが必要であると考えている。本制度の導入については、事例の調査研究と共に、印西市民生委員児童委員協議会とも協議したい。

個人質問

新市基本計画について

小川 利彦 議員

質問1　地域幹線道路等の新設改良事業について伺う。

市長　「新市基本計画」に示されている、「竜腹寺線」、「101号線」、「103号線」、および「角田線」の本埜地区4路線については、昨年度工事が完成した「101号線」を除き、「印西市総合計画、第2次基本計画」の整備に取り組むべき路線として位置づけをしている。

質問2　合併時の約束に対する市の考え方について伺う。

市長　市の最上位計画である「印西市総合計画」は、合併の際に策定された「新市基本計画」を踏まえて作られており、合併時の理念は、これから印西市がめざすべき将来都市像に反映されているものと考えている。

再質問　印西市としての大枠の話として理解出来るが、印西市として具体的な考え方を伺う。

都市建設部長　地域交通の円滑化と生活環境の向上を図るために、「新市基本計画」で位置付けた路線については、「印西市総合計画」に基づき、整備を進めたいと考えている。

再質問　今後の状況は。

市長　指摘のあった路線は、「印西市総合計画」において位置づけられた地域幹線道路であり、事業費の財源確保などの課題等もあるが、引き続き早期に着手できるよう努める。

◆その他の質問

○空き地等の管理状況について

○文化財保護事業活用について

○景観マスタープランについて

○要望書等に関する一般質問に対する状況について

個人質問

国際化推進方針 発達障がいの対応について

稲葉 健 議員

質問1　印西市国際化推進方針について伺う。

企画財政部長　印西市国際化推進方針は、第2次基本計画で位置づけた「国際化・多文化共生」に係る分野において「互いに文化を認め合い、尊重しながら、共に歩める社会をめざす」事を政策に掲げている。

再質問　具体的な取り組みについて伺う。

答弁　職員の研修の実施、印西市国際交流協会等の関係機関との連携強化、行政資料の多言語化や相談窓口の充実、市民向けの異文化理解講座の開催等を実施している。

再質問　外国人児童生徒に対する日本語指導員の配置について伺う。

教育部長　週2回、1日3時間、約3カ月間の指導を通じて学校生活で困らない程度を目的に配置している。

再質問　姉妹都市構想について伺う。

企画財政部長　現在具体的な構想はない。

質問2　発達障がいの今後の取り組みについて伺う。

健康福祉部長　早期の発達支援として子ども発達センターでの療育・相談事業を実施してるが、事業の充実を図っていくうえでは、専門スタッフの確保と人材育成が重要と考えている。関係部署と連携を図りながら人材育成・確保に取り組むと共に、支援の為のノウハウの普及、保護者はじめ、地域における発達障がいへの理解を促進していきたい。

◆その他の質問

○中心市街地活性化について

○市制施行20周年記念事業について

個人質問

北総鉄道運賃の健全化

玉木 実 議員

質問　大変重要度が高い印西市の問題となっている北総線問題に利便性の向上の為に、私は別の観点からこの問題を聞いてみたいと思う。平成10年に「資金流動化法」が生まれて資金調達がしやすくなり印西市においてはプロロジス、グッドマンジャパン（株）は特定目的会社で進出して営業している。印西市民が立ちあがり、目的は唯一つ「北総鉄道の運賃値下げ」を訴えてこの特定目的会社を設立したら良いと声を大にする。北総鉄道は毎年利益をあげていても、しかし建設時からの繰り越し損失や有利子負債を抱えている現状を打破する為にも、上下分離方式を使い担保は鉄道事業、線路とはっきりとわかりやすく私は市民に訴えていきたいと思う。

北総鉄道も負債が減り、一方市民は悲願である「運賃値下げ」を達成しウインウインの関係となる。そこで、北総鉄道（株）の過去五年間の経常利益について伺う。

企画財政部長　平成24年から28年まで毎年21億円から28億円の純利益をあげている。

◆その他の質問

○健康増進課の目的

○空き家対策

お知らせ

請願・陳情の提出はお早めに

請願・陳情書はいつでも提出できますが、定例会ごとに提出期限をもうけ、審議を行っています。提出期限については、議会事務局にお問い合わせください。

一般質問の閲覧

平成28年第４回定例会（12月議会）で予定されている一般質問（個人）の内容は、11月30日（水）以降ホームページで閲覧できます。

各常任委員会の審査

印西市議会では、全ての議案を委員会において審査することを原則としています。９月15日に予算審査常任委員会、16日に文教福祉常任委員会、20日に総務企画常任委員会、21日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。

ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた議案の主な質疑及びその答弁の一部を掲載します。

予算審査常任委員会

【平成28年度印西市一般会計補正予算（第２号）】

質疑　農業振興費の園芸振興事務に要する経費として、県の産地パワーアップ事業補助金が歳入にあるが、この分の歳出の内容を伺う。

答弁　産地パワーアップ事業については、国において昨年のＴＰＰの大筋合意を踏まえ、平成27年度の補正予算で制定された事業となっている。内容は、水田、畑作、野菜、果樹等の産地が創意工夫をして、産地の高収益化に向けた取り組みを行い、農業の国際競争力の強化を図るというところが大きな目的である。産地が産地パワーアップ計画を作成して、意欲ある農業者等が高収益な作物や栽培体系等へ転換する取り組み等を総合的に支援する事業である。事業メニューについては、育苗施設や乾燥調整施設等の整備事業、リース方式による農業機械や生産資材等の導入に係る生産支援事業、計画策定や技術的な実証を行う効果増進事業の３事業がある。

この事業に申請をした方は、株式会社ハルディンである。ハルディンは全国的な農業法人であり、特に野菜から花までの苗の育苗や販売等をしている。申請内容で大きなものとしては、接ぎ木・挿し木のロボットを導入、さらに、育苗及び養生の施設整備ということである。

【審査結果】

●平成28年度印西市一般会計補正予算（第２号）　〈可決〉

●平成28年度印西市下水道事業特別会計補正予算（第１号）　〈可決〉

●平成28年度印西市介護保険特別会計補正予算（第２号）　〈可決〉

●平成28年度印西市一般会計補正予算（第３号）　〈可決〉

農業の国際競争力強化を ～産地パワーアップ事業活用～

教育委員長が教育長に一本化 ～新教育制度スタート～

【印西市職員定数条例等の一部を改正する条例の制定について】

【内容】地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）の施行により、教育委員長が教育長に一本化され、常勤の特別職となることから、関係条例について所要の改正を行うもの。

質疑　今回の改正により、教育長の報酬も報酬審議会の審議の対象になると理解する。条例が施行される10月１日以降に改めて教育長の報酬を審議するのか。

答弁　教育長の報酬は、市長の指示により、平成27年１月の報酬審議会で意見を聞いている。従って、条例改正後の10月に審議会を開く考えはない。

質疑　教育長と教育委員長が一本化されるという事で、実態としては教育委員長がいなくなるわけだが、教育委員会会議は今後どういう形で主宰されるのか。

答弁　教育長と教育委員長が一本化されるという事なので、教育長が会議を招集し、教育長が所掌するという形で運営されると考えている。

総務企画常任委員会

質疑　教育委員会の見解を聞きたい。

答弁　教育委員会会議にまだ諮っていないが、会議の一部ということになるが、会議の一を提出するところから表決まで、いわゆる提案者にかぶらないよう教育長が指名する委員に行わせるというようなことで、案として提出する予定だ。

【審査結果】

●印西市職員定数条例等の一部を改正する条例の制定について　〈可決〉

幼保連携型認定こども園の開園に向け期待高まる

【印西市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】

【内容】印旛高校跡地において民間事業者が設置し運営する幼保連携型認定こども園の開園に伴い、平成29年３月31日をもって印西市立大森保育園及び印西市立木下保育園を閉園するもの

質疑　説明会における保護者からの意見に対し、市の回答を伺う。

答弁　職員の配置について、現在、大森保育園、木下保育園、大森幼稚園に勤務中の非常勤職員または任期付き職員には市から確認をとり、希望者は新しいこども園で採用していただけるようにお願いしている。また、これまで使用していた用具は、できるだけ保護者の経済的負担にならないように配慮すると事業者から回答を得ている。スクールバス運行の要望に対して、経路は利用者が確定してから決定するが、実施していただけることになっている。今、在園している園児は優先的に入園できるように配慮し、保育園については保育料の変更はない。

【印西市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について】

【内容】（１）印西市立大森幼稚園について、印旛高校跡地において民間事業者が設置し運営する幼保連携型認定こども園の開園に伴い、平成29年３月31日をもって閉園するもの。

（２）現在休園中の印西市立岩戸幼稚園について、今後再開する予定がないことから、平成29年３月31日をもって閉園するもの。

（３）印西市立もとの幼稚園の位置について、地番表示の整合を図るもの。

質疑　園児が親しんだ遊具・おもちゃ・絵本等を新しい園に引き継ぐことについて、保育課と連携をとって配慮すべきと考えるがいかがか。

答弁　難しい部分もあろうかと思うが、保育課と連携しながら対応していきたい。

【審査結果】

●印西市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について　〈可決〉

●印西市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について　〈可決〉

●工事請負契約の締結について　〈可決〉

●財産の取得について　〈可決〉

文教福祉常任委員会

環境にやさしい建築物に新たな手数料制度を創設

【印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について】

【内容】建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の施行に伴い、手数料についてあらたに加えるもの。

質疑　法律に該当する場合、認定申請手数料は下がるのか。

答弁　低炭素法での手数料の一例としては、モデル建物法を使用した場合で床面積３００平方メートル以下の場合の手数料は８万５０００円で、使用しなかった場合は２５万５０００円である。また、登録住宅性能評価機関の評価書を添付した場合は戸建住宅等で１件あたり５０００円、評価書が無く全て行政庁が審査する場合は３万６０００円の手数料である。

【審査結果】

●印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について　〈可決〉

建設経済常任委員会

平成28年第3回定例会　議案と審議結果一覧

※○＝賛成、×＝反対、退＝退席、欠＝欠席、除＝除斥
※議長（小川義人）は採決に加わりません。

番号	件名	議決結果	伊藤真一	稲葉健	小川利彦	玉木実	米井重行	櫻井正夫	浅沼美弥子	岩崎成子	海老原作一	近藤瑞枝	酢﨑義行	藤代武雄	増田葉子	松尾榮子	山本清	軍司俊紀	金丸和史	板橋睦	山田喜代子	橋本和治	小川義人
《議　案》（市長提出議案）																							
議1	印西市職員定数条例等の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議2	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議3	印西市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議4	印西市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議5	平成28年度印西市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
議6	平成28年度印西市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議7	平成28年度印西市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議8	工事請負契約の締結（木刈小学校改修建築工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
議9	財産の取得（印西市立小学校児童用机及び椅子）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議10	平成28年度印西市一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認1	平成27年度印西市一般会計歳入歳出決算認定	不認定	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	—
認2	平成27年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認3	平成27年度印西市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認4	平成27年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認5	平成27年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認6	平成27年度印西市水道事業会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮1	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること（中嶋　加奈江氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
諮2	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること（伊賀﨑　眞理子氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
同1	印西市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めること（寺田　節子氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
同2	印西市教育委員会の教育長の任命につき同意を求めること（大木　弘氏）	同意	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	—
同3	印西市教育委員会の委員の任命につき同意を求めること（鈴木　裕枝氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
《議　案》（議員提出議案）																							
発議1	市制施行20周年記念花火大会中止問題等調査特別委員会の設置	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○	—

発議案

▼第1号　市制施行20周年記念花火大会中止問題等調査特別委員会の設置について　〈可決〉

花火大会の業者選定から中止決定に至る事実とその後の市の対応等について、正確な情報を把握することを目的として、調査特別委員会を設置するもの。委員定数は8人、委員の任期及び設置期間は平成28年9月29日から当該調査を終了するまで。

陳情

▼指定難病以外の難病・疾病対策の充実に関して国等への意見書の提出を求める陳情　〈議員配布〉

「いんざい市議会だより」の一面に掲載する写真を募集しています。

【題　　材】印西市の四季折々の風景
【応募資格】市内在住、在勤または在学の方
詳細については議会事務局までお問い合わせください。
【印西市議会事務局】
☎0476－42－5111（代）内線 605・608

本会議がスマートフォン・タブレットでも視聴可能になりました

印西市議会では、インターネットによる本議会のライブ中継及び録画中継を実施しています。
これまでパソコンからでしか視聴できなかった議会中継が、スマートフォン及びタブレット端末でもご覧いただけるようになりました。
なお、録画中継は、ライブ中継終了後、通常4日後（土・日・祝日を除く）より視聴いただけます。
※Windows パソコンで視聴するには、Flash Playerが必要となります。
Flash Playerのダウンロード（無料）はhttp://get.adobe.com/jp/flashplayer/から

市民の声

議会だより編集委員会では、市民に開かれた身近な議会とするため、議会の活動状況等について広く市民から意見や感想等をいただくこととし、本号から「市民の声」を開始しました。

第1回目は大塚延男さんです。

『議会傍聴への誘い』

大塚　延男

昨年春、議会だよりで市議会定例会の開催日程を知り、傍聴を思い立った。

庁舎5階の議会事務局前で手続きを済ませ、議場前で日程表、資料を一部手にし、傍聴席に入った。既に、報道関係の人、同世代の人が十数人着席している間を軽く挨拶しながら空いている席に座った。

勿論、初めてのことで、市の仕事の予備知識も無いままに各議員の質問、それに対する市長、市職員の答弁をただ聴いていたと記憶している。

その後、機会あるごとに傍聴を続け、年間4回の定例会、併せて開催される四つの常任委員会、決算審査特別委員会なども傍聴できることを知り、傍聴を通して各議員、市長、市職員の方々が市民のために如何に働いているかが解り、そして、休憩時間では、顔見知りの方々との語り合い、新しい方との仲間づくりなどが体験できた。

同じ5階には、議会会派室があり、議員への激励、要望、相談など、気軽に訪ねることができる。

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は、11月29日（火）～12月21日（水）までの会期予定です。午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。

なお、都合により変更になる場合もあります。

詳細については、お問い合わせください。

第4回　定例会会期予定及び日程

日	月	火	水	木	金	土
11/20	11/21	11/22 議会運営委員会	11/23 勤労感謝の日	11/24	11/25	11/26
11/27	11/28	11/29 本会議（議案上程）	11/30	12/1 本会議（個人質問）	12/2 本会議（個人質問）	12/3
12/4	12/5 本会議（個人質問）	12/6 本会議（個人質問）	12/7 本会議（個人質問）	12/8 予算審査 常任委員会	12/9 総務企画 常任委員会	12/10
12/11	12/12 文教福祉 常任委員会	12/13 建設経済 常任委員会	12/14	12/15	12/16	12/17
12/18	12/19	12/20 議会運営委員会 正副委員長会議	12/21 本会議（議案の採決）	12/22	12/23 天皇誕生日	12/24

※常任委員会等の開会時間はお問い合わせくださだい。

【印西市議会事務局】　☎0476−42−5111（代）内線607･608

議会だより視察報告

議会だより編集委員会

平成28年7月25日から26日までの二日間、編集委員5名、議会事務局職員1名で宮城県利府町議会及び山形県川西町議会を訪問した。

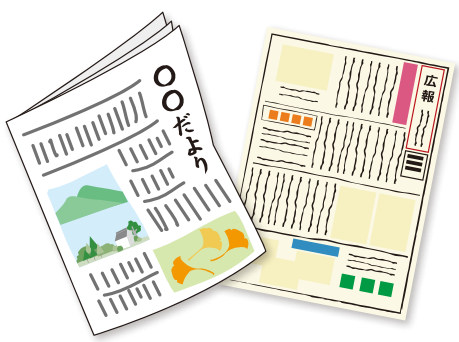
「印西市議会だより」は、現在、タブロイド版で発行している。当委員会では、市民の皆様が手に取りやすく、読みやすい紙面を目指し、タブロイド版からA4版へのリニューアルを検討している。

全国町村議会広報コンクールで2年連続第一位の川西町議会と6年連続入選の実績のある利府町議会の「議会だより」を参考にしたいと考え、視察することとした。

「りふ議会だより」は、写真が多く使われており、紙面の文章は短文で構成され、住民にわかりやすい言葉、伝わる文章など読んでいただける紙面づくりに配慮されている。そして、中学生でも理解できる内容を目指し、議会だよりを読むことによって、議会を傍聴したのと同程度の情報を得られるよう工夫している。平成27年度のコンクールでも、読者への配慮が細やかで住民視点での編集がなされているとの評価が得られているとの事である。

「かわにし議会だより」は、写真、レイアウト、読みやすさを配慮した広報紙となっている。写真部門は写真アドバイザーを、文章部門は教員経験者の方を広報アドバイザーとして依頼し、校正の際には意見をいただいている。平成27年度のコンクールでは、見出し、写真を目で追うだけでアウトラインが伝わり、自分の関心に応じて読み進めることができる「読者にやさしい広報紙」であると評価されているとの事である。

本市においてA4版にリニューアルした場合についての検討、常任委員会制についての議論など、今回の視察を参考にして、より良い「議会だより」、「広報活動」に向け進めて行きたい。



市民の声のモニターを募集中

議会だより編集委員会では、市民のみなさんから議会の活動等について、ご意見や感想をいただく「市民の声」のモニターを募集しています。（若干名）

ご協力いただける方は、議会事務局までご連絡ください。

【印西市議会事務局】
☎0476（42）5111（代）
内線605

北総地区市議会正副議長会議員研修会

10月14日（金）成田市において、千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会が開催され、印西市議会から10名の議員が参加しました。

講師に東洋大学客員教授の南　学氏をお迎えし、「これからの公共施設のあり方「拡充」から「縮充」への発想転換～住民代表の議員・議会の役割」についてご講演をいただきました。

編集後記

第3回印西市議会定例会（9月議会）が終了しました。

今定例会では17名の議員が壇上に立ち、それぞれが代表・個人質問を行いました。

市長選挙後、初の定例会でもあり、市長の所信表明に対する質問が多く見受けられました。東洋経済新報社が全国の都市を対象に毎年公表している「住みよさランキング」で、印西市が日本一住みよい市として、5年連続の全国一位になりました。しかし、実際に居住している私達は、「実感のわかないランキング」と首をかしげるところです。

議会だより編集委員会では、市民の皆様が市議会に興味を持って活動をご理解いただき、一緒に実感の持てるまちづくりにつながるような紙面づくりを目指しています。

現在、当委員会では、手に取って読みやすいA4版へのリニューアル、市民の皆様のモニターでの参加等、アイデアを出し合い、委員長を中心に試行錯誤をしています。今まで以上に見やすく、分かりやすい議会だよりとなるよう、議会の考えを皆さまにお届けできるよう編集委員一同努力して参ります。（S・Y）

委員長　橋本　和治
副委員長　藤代　武雄
委　員　米井　重行
〃　岩崎　成子
〃　松尾　榮子